【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年4月14日(2023.4.14)

【国際公開番号】WO2022/038783
【出願番号】特願2022-543254(P2022-543254)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ 17/12(2006.01)
Ａ６１Ｂ 1/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ 17/12
Ａ６１Ｂ 1/00 ６５０

【手続補正書】
【提出日】令和5年1月27日(2023.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１筒体と、
前記第１筒体の基端部に接続され、内視鏡の先端部に着脱可能に構成された第２筒体と、
筒状をなし、前記第１筒体の外周に装着され、前記第１筒体に対しその長軸方向に沿って相対移動可能であるスライダと、
前記第１筒体の外周に装着され、前記スライダとともに前記第１筒体に対して相対移動可能な結紮用リングと、を備え、
前記第２筒体は、強度が他の部分よりも低い脆弱部を有し、
前記脆弱部により前記第２筒体の少なくとも一部が破断するように構成されている、結紮用デバイス。
【請求項２】
前記第２筒体の前記脆弱部に少なくも一部が接合され、前記スライダを押して相対移動させるための流体が通過するように構成されたチューブをさらに備え、
前記チューブを引っ張り前記第２筒体から離間させたとき、前記脆弱部により前記第２筒体の少なくとも一部が破断するように構成されている、請求項１に記載の結紮用デバイス。
【請求項３】
前記脆弱部は、前記第２筒体の外周面に前記第２筒体の長軸方向に沿って形成された凹部又は孔部を有し、
前記チューブは、前記凹部又は前記孔部に沿って配置され、前記凹部又は前記孔部に樹脂により固定されている、請求項２に記載の結紮用デバイス。
【請求項４】
前記脆弱部は、前記第２筒体の長軸方向に沿って形成されたスリットを有し、
前記チューブは、前記スリットに沿って配置され、前記スリットに樹脂により固定されている、請求項２に記載の結紮用デバイス。